



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福  
 コード番号 7441 URL <https://kk-misumi.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 慶介  
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長 (氏名) 今林 俊人 (TEL) 099-260-2213  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	15,469	17.3	158	296.8	275	79.2	175	84.6
2022年3月期第1四半期	13,192	19.1	39	△86.7	153	△62.6	95	△65.4

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 287百万円(35.3%) 2022年3月期第1四半期 212百万円(△49.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	30.48	—
2022年3月期第1四半期	16.45	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	40,402	17,565	42.7
2022年3月期	36,049	17,429	47.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 17,270百万円 2022年3月期 17,131百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,906	10.5	226	7.4	406	△5.6	257	2.5	44.62
通期	64,020	4.5	825	△11.0	1,131	△18.2	568	17.2	98.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	6,100,503株	2022年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	345,714株	2022年3月期	329,369株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	5,764,284株	2022年3月期1Q	5,785,575株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染の縮小と行動制限の解除に伴い一旦は景気回復の兆しが見られましたが、感染力の高い新たな変異株の流行により、再び感染拡大の懸念が高まっていることや、ウクライナ問題の長期化に加え、急激な円安の進行に起因した原材料価格の高騰や供給制約等、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、引き続き新型コロナウイルスの感染防止対策に努めるとともに、主力のエネルギー事業において、営業力の強化による燃料油やL P ガス等の業界内・地域内の販売シェアの拡大に努めました。その一環として、5月に宮崎県内でL P ガス及び器具の販売等を行っている株式会社石井商店の全株式を取得し、完全子会社化いたしました。

その他の事業につきましても、新規出店や既存店舗のリニューアルを進めるとともに、接客・サービスの更なる向上を目的に、社内研修を充実させ、お客様との関係性や信頼性の強化に努めております。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、エネルギー関連商品の販売価格が前期に比べ上昇したこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は154億69百万円（前年同四半期比17.3%増）、経常利益は2億75百万円（前年同四半期比79.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億75百万円（前年同四半期比84.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、入札案件の獲得を強化するため、入札情報サービスを活用し、大型案件の獲得による販売数量の増加を図る一方で、採算販売を重視した活動を継続し、利益の確保に努めました。

ガス部門では、ガスと電気需要家の新規開拓のため、一般需要家向けにガスと電気の紹介キャンペーンを実施しました。また、ダイレクトメール送付によるガス機器や住設器具の拡販セールを実施するなど、収益の確保に努めました。

以上の結果、エネルギー関連商品の販売価格が前期に比べ上昇したこと等により、売上高は121億51百万円（前年同四半期比23.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は2億49百万円（前年同四半期比151.4%増）となりました。

#### 2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、コミックの試し読みを増やすとともに、季節商材の展開拡大や、時代のトレンドに合わせた売り場を展開するなどお客様への訴求を強化しました。misumi STOREでは予約獲得強化やキャンペーンを実施するなど、売上の確保に努めました。

オブシアミスミでは、三密回避のためWEB応募型企画を中心に小規模イベントの開催や、オブシアミスミの共通商品券を販売し、販売促進に努めました。

上記の通り販売促進に努めたものの、カルチャー店舗への客数減少等により、売上高は18億64百万円（前年同四半期比2.5%減）、セグメント利益（営業利益）は21百万円（前年同四半期比52.1%減）となりました。

#### 3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力業態であるK F Cにおいて、店舗のリニューアルを進めるとともに、ロス削減によるフードコスト管理を徹底し、利益改善に努めました。また、6月に利便性の向上等を目的として、K F C宮崎大塚店(宮崎市)を移転オープンいたしました。

以上の結果、売上高は14億54百万円（前年同四半期比0.0%増）となりましたが、既存店舗の売上減少の影響とK F C店舗の改装費用等で経費が増加したことにより、セグメント利益（営業利益）は90百万円（前年同四半期比25.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて43億53百万円増加し、404億2百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少する一方、株式会社石井商店の子会社化に伴い現金及び預金、のれん及び投資有価証券等が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて42億17百万円増加し、228億37百万円となりました。これは主に、買掛金が減少する一方、借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億35百万円増加し、175億65百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2022年5月12日発表から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,206,647	5,774,981
受取手形、売掛金及び契約資産	6,214,183	5,456,615
商品及び製品	2,979,069	2,905,098
仕掛品	3,560	10,267
原材料及び貯蔵品	14,630	13,332
その他	526,579	542,000
貸倒引当金	△9,193	△8,559
流動資産合計	13,935,477	14,693,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,218,910	4,366,624
土地	11,401,425	11,818,788
その他（純額）	1,326,667	1,816,330
有形固定資産合計	16,947,004	18,001,743
無形固定資産		
のれん	105,386	1,448,969
その他	221,525	204,635
無形固定資産合計	326,912	1,653,604
投資その他の資産		
その他	5,018,709	6,238,610
貸倒引当金	△178,956	△184,879
投資その他の資産合計	4,839,752	6,053,731
固定資産合計	22,113,669	25,709,079
資産合計	36,049,146	40,402,816
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,257,955	2,372,122
短期借入金	4,620,000	7,890,000
1年内返済予定の長期借入金	2,522,969	2,756,544
未払法人税等	338,085	217,840
賞与引当金	325,630	499,983
その他	1,433,124	1,285,383
流動負債合計	12,497,764	15,021,874
固定負債		
長期借入金	4,245,000	5,766,908
役員退職慰労引当金	759,620	911,703
その他	1,117,179	1,136,851
固定負債合計	6,121,799	7,815,463
負債合計	18,619,564	22,837,338

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	13,738,031	13,798,309
自己株式	△582,903	△611,925
株主資本合計	16,492,628	16,523,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	583,103	693,351
退職給付に係る調整累計額	55,354	53,235
その他の包括利益累計額合計	638,458	746,586
非支配株主持分	298,494	295,006
純資産合計	17,429,581	17,565,478
負債純資産合計	36,049,146	40,402,816

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	13,192,451	15,469,877
売上原価	10,377,651	12,528,864
売上総利益	2,814,799	2,941,013
販売費及び一般管理費	2,774,967	2,782,941
営業利益	39,832	158,072
営業外収益		
受取利息	623	604
受取配当金	25,845	28,836
受取賃貸料	38,786	42,189
その他	75,239	71,966
営業外収益合計	140,495	143,596
営業外費用		
支払利息	12,375	14,895
賃貸費用	5,105	6,360
固定資産除却損	7,838	1,744
その他	1,228	3,090
営業外費用合計	26,547	26,089
経常利益	153,780	275,579
特別利益		
固定資産売却益	709	2,991
特別利益合計	709	2,991
税金等調整前四半期純利益	154,489	278,570
法人税、住民税及び事業税	76,360	118,570
法人税等調整額	△20,189	△19,036
法人税等合計	56,170	99,533
四半期純利益	98,318	179,036
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,157	3,336
親会社株主に帰属する四半期純利益	95,160	175,700



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	98,318	179,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,734	110,247
退職給付に係る調整額	△4,906	△2,198
その他の包括利益合計	113,827	108,049
四半期包括利益	212,146	287,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,050	283,828
非支配株主に係る四半期包括利益	3,095	3,256

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	
(会計方針の変更)	
(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)	
「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。	

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,826,522	1,912,462	1,453,466	13,192,451	—	13,192,451
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,700	24,544	11	29,255	△29,255	—
計	9,831,222	1,937,006	1,453,477	13,221,707	△29,255	13,192,451
セグメント利益	99,206	45,267	120,873	265,346	△225,514	39,832

(注) 1 セグメント利益の調整額△225,514千円には、セグメント間取引消去977千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△226,491千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,151,531	1,864,203	1,454,141	15,469,877	—	15,469,877
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,412	20,992	—	26,405	△26,405	—
計	12,156,944	1,885,196	1,454,141	15,496,282	△26,405	15,469,877
セグメント利益	249,362	21,701	90,283	361,347	△203,275	158,072

(注) 1 セグメント利益の調整額△203,275千円には、セグメント間取引消去662千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△203,937千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。